

☆東京大学鹿児島宇宙空間観測所の設置☆

秋田ロケット実験場が、ロケット飛しょう水平距離の増大に伴い、大型ロケットの飛しょうに限界が生じたため、先般来、これを補なう新実験場を太平洋岸に求めていたところ、諸条件を総合して鹿児島県肝付郡内之浦町東海岸にその場所を得、去る4月11日決定した。同所は大隅半島の東部海岸に属し、鹿児島県内でも特に無霜地帯といわれている。使用地はすべて国有林野で、海岸線から1km以内に約3kmの長さにわたって、発射点、



研究および観測系、テレメータ・指令室系、ロケット格納庫、器材格納庫、レーダ点、光学観測点等を含む7団地を定め、36年度から道路・整地・電力等の建設に着手する計画である。大隅半島は典型的断層地型で、使用地帯は標高270mから320mの小山が点在し、各団地はそれらの頂きを整地の土設営される。すでに鹿児島県庁ならびに内之浦町から全面的協力を借さないとの激励がなされ、完成の上は、世界にも類のないユニークなSpace Centerとなることであろう。新実験場の名称は、標題のように定められた。また秋田実験場は、同所で可能なロケット飛しょうと地上テストのため、これまでどおり存置される。

☆ 寄 稿 ☆

◇教授 菊池 真一, 研究員 本多 健一 “Simultaneous Polarographic Determination of a System of o-Nitroanisole, o-Chlorobenzene and o-Nitrophenol” Bulletin of the Chemical Society of Japan. Vol. 34, P.P. 529. (1961.4)

☆ 特 許 ☆

◇教授 永井芳男「芳香族スルホン酸類を横型連続式反応装置を用いてアルカリ融解する方法」日本特許 274036 登録 昭和36年4月5日 (1961.5.31)

表 紙	落雷に伴う放電数を計数記録する雷放電カウンタおよびその記録例 (5ページ参照)	
退官記念講演要旨		
日本 の 塩	岡 宗次郎	1
研 究 解 説		
雷放電カウンタによる測定	藤 高 周 平 河 村 達 雄	5
原子炉用 Zr 合金の溶接	安 藤 良 夫	12
海 外 事 情		
米欧の電気工学 (II)	森 脇 義 雄	17
研 究 速 報		
拡張誤差関数を裏関数に含む新しいラプラス変換式	安 達 芳 夫	23
関数 $\mathcal{I}_1(z; x_1, x_2)$ と $\mathcal{I}_2(z; x_1, x_2)$ の性質	安 達 芳 夫 渡 辺 勝	29
超音波厚み計による板波の観察	尾 上 守 夫	32
整流, 記憶, 発振作用を行なう電解質装置	山 本 啓 太	35
生研ニュース		表紙 2, 3